

日赤ニュース

No. 46
2012年

発行日：平成24年4月
発行責任者：河井 繁
編集・発行：伊勢赤十字病院 広報委員会
伊勢市船江1丁目471番2
☎0596-28-2171(代表)
<http://www.ise.jrc.or.jp>

理 念

人道に基づき赤十字病院として
質の高い医療を提供します

基本方針

1. 人道を掲げる赤十字の原則に基づき、人々の健康と生命の尊厳を守ります
2. 人権を尊重します
3. 個人情報保護に万全を尽くします
4. 医療水準の向上に努め、最善の医療を提供します
5. 地域医療機関との連携により、個人に合った適切な医療を提供します
6. 救急医療の充実に努めます
7. 災害時の医療救護や国際救援に貢献します
8. 健全な運営に努め、未永く地域社会に貢献します



ドクターヘリ 運航開始

2012年2月1日より、三重県は県の事業として「ドクターヘリ」の運航を開始しました。全都道府県では25番目の導入ですが、南北に長く救急車による搬送に多大な時間を費やしてきた三重県にとっては待ちに待った日がやってきました。ドクターヘリは、心筋梗塞、脳卒中、交通事故による多発外傷など、医師が現場に行き、緊急に治療を行うことによって命を救える、あるいは後遺症を減らすことが期待できる場合に出勤します。

ドクターヘリが常置する「基地病院」は三重大学医学部附属病院（三重大病院）と伊勢赤十字病院の二つの病院で担当します。2月3日が三重大病院、4月5日が伊勢赤十字病院のように二月毎に交代します。どちらの病院からも三重県全体を35分以内でカバーできます。運航時間は毎日8時30分から17時もしくは日没まで、夜間は出勤することができません。日中でも強風や視界の悪い天候不良時には運休せざるを得ません。

ドクターヘリの出勤を要請できるのは消防本部のみで、個人がドクターヘリを要請することはできません。県の策定した基準に従い救急隊員が現場で傷病者（患者）の状態を詳しく観察し、病状によって受入れ病院を選定しています。そして一刻も早く医師の管理が必要と判断された場合には、直ちにドクターヘリが要請されます。

ドクターヘリによる搬送には費用負担はありませんが、医師の診察や治療にかかる費用については通常の往診料と同等の費用負担が発生します。診察の結果、ヘリコプターによる搬送がむしろ危険と考えられる場合、救急車による搬送でも予後（治療の結果）に影響が無いと判断される場合には、そのまま救急車による搬送を選択します。また、搬送できるのは傷病者（患者）のみで、家族であつても関係者は同乗することができません。関係者の方はお手数でも公共交通機関、自動車などで搬送先病院まで向っていただく必要が有ります。



ドクターヘリが着陸できる場所は、小学校のグラウンドなど、あらかじめ選定された場所が基本ですが、極めて緊急度が高い場合には、道路上や空き地に着陸することもあります。消防職員等がドクターヘリの着陸のために、窓を閉める、洗濯物を屋内に取り込む、自動車の移動などをお願いする場合がございますので、どうかご理解の上、御協力をお願いいたします。

救急部 部長 説田 守道

平成24年1月 形成外科 開設

形成外科部長 中里 公亮



新病院の移転にあたって平成24年1月より新しい診療科として形成外科を開設いたしました。今回は形成外科全般の診療内容についてご紹介いたします。

形成外科は、主に外傷や熱傷、先天異常などによる形態的、機能的障害に対して手術的に治療を行う外科の一分野です。体表の異常や変形を治療し、失った機能や体の一部を新たに作るなどができます。

- ① 外傷や熱傷（やけど）による皮膚障害 傷あと。外傷や熱傷の初期の治療から手術治療まで行います。外傷に関しては、傷あとが最小限になるように軟膏治療や縫合処理を行います。また、以前の外傷の傷跡で、傷の幅が広いもの、ケロイド状（傷跡が盛り上がった状態）になったものは、傷あとをきれいにする手術ができる場合があります。
- ② 腫瘍、腫瘍手術後変形（皮膚の腫瘍 悪性腫瘍切除後の変形）。主に体の表面の良性、悪性の腫瘍を、できるだけ機能や形態を損なわないように治療する分野です。皮膚が不足する場合に、皮膚移植を行います。また、他の科の

手術で失われた組織を治すこともします。例えば乳がんの手術後に乳房を作るなどです。

- ③ 表在性先天異常（生まれつきの体の表面の形や色の異常、あざなど）。体表の母斑（血管腫、あざ）や手足・体幹の形態の異常。あざ（母斑）では色素性母斑（黒あざ、ほくろのあざ）、脂腺母斑などを手術で治療します。手足の異常では多指症、合指症、短合指症などを扱います。臍突出症、臍ヘルニアの治療も行っています。外耳の変形（小耳症、折れ耳、埋没耳、副耳、立ち耳）などの治療も行います。

- ④ 美容外科 原則として保険診療以外には行っていませんが、加齢性の眼瞼下垂症やコンタクトレンズを長期に使用している人の眼瞼下垂症は保険適応です。また腋臭症も症状によっては保険適応で治療可能です。まき爪（陥入爪）の治療も手術当日から歩行できる方法で治療を行っています。

その他、いろんな疾患を扱っています。傷跡一つとってもそれに対する悩みは患者一人一人で違います。機能的に困っているのか、見た目が気になるのかなど具体的な悩みをお気軽にご相談ください。

Q&A

外傷後の傷あとを少なくするには？

いったんけがをして、瘢痕（傷跡）ができてしまった場合、これを完全に消すことはできません。手術の傷跡も同じです。しかし傷跡を目立たなくすることができます。

1. 紫外線を予防する。とくに外傷や熱傷（やけど）後の瘢痕は炎症でメラニン色素が出やすくなっており、傷あとの範囲以上に色素沈着が目立つことがあります。
2. 傷あとの周囲を安静に保つ。傷あとは皮膚の緊張で幅が広がってきます。たとえば関節の近くや呼吸で動く胸や背中への傷は幅が広くなり目立ちます。傷の上に和紙のテープを貼付したり、関節では包帯やサポーターを使用します。
3. 傷あとがピンク色に盛り上がっているときは、軟膏やテープ剤を使用する。外傷後6か月以上経過しても、傷痕が目立つ場合は手術することを考えます。

患者用内用療法について

放射線科部 RI管理係長 小林 篤



旧病院では、放射性同位元素（以下RI）を用いた検査・治療は、通常のRI検査のみでしたが、新病院では新たにPET/CT検査と内用療法が行えるようになりました。内用療法とは、体内にRIを投与して治療する方法で、病巣に集まる性質のRIそのもの、あるいは病巣に集まる性質の化合物に、RIを結合させたRI標識化合物を用います。投与されると病巣に集積し、そこからの放射線照射により、組織を内部から破壊することで治療をおこなう放射線治療です。これは、ライナックなどの外部からの照射と異なり、時間あたりの放射線の量は少ないが、病巣に留まる限り放射線を出し続けるため、効果に持続性もあり、病巣以外の正常な細胞にはほとんど集まらないため、副作用が少ないといった利点があります。

当院で治療可能なものは、図に示す4種類があります。リンパ腫の治療には、 ^{90}Y 標識抗体を用いた治療薬（Zevarin：ゼバリン）が数年前に認可されており、これについては県内唯一の治療可能施設として、県外からの患者さんも治療する可能性があります。

骨転移の疼痛緩和治療には ^{89}Sr （メタストロン）が用いられ、消炎鎮痛剤や麻薬などで疼痛コントロールができなかったり、鎮痛剤の副作用が強く出現したりする患者のQOLを向上させる為に有意義であり、おおむね70～80%の有効率とされ、疼痛緩和は通常投与1～2週間で発現し、長期間の効果が期待できます。

バセドウ病に対する治療法には薬物治療、内用療法、そして手術という3つの方法があり、海外において ^{131}I を使った内用療法は1941年から行われており、その有効性と安全性は確立されていますが、放射線に対する不安のためか日本では抗甲状腺薬による薬物療法が主流であり ^{131}I を使った内用療法はごく僅かしかおこなわれていませんでした。また、以前はその取扱いの規制が厳しかった為、十分な普及には至っていなかった ^{131}I を用いた術後甲状腺癌転移巣の治療も可能となりました。

新病院では内用療法に対応した施設設計としました。この治療法が選択肢の一つとなれば、患者さんのQOLの改善に役立つと考えています。今後、核医学診療が、主治医の先生や患者さんに有効に利用されると考えております。

RI内用療法の具体例

- ・ ^{90}Y 標識抗CD20モノクローマ抗体による再発又は難治性低悪性度またはる胞性B細胞性非ホジキンリンパ腫、マントル細胞リンパ腫の治療（ゼバリン）
- ・ $\text{Sr-}89\text{Cl}_2$ による転移性骨腫瘍への除痛目的の治療（メタストロン）
- ・ $\text{NaI-}131$ によるバセドウ病の治療
- ・ $\text{NaI-}131$ による術後甲状腺癌転移巣の治療

教室を受けられる患者さんへ

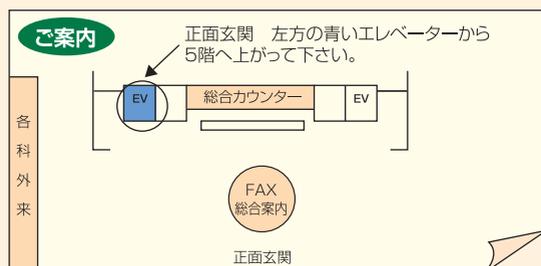
平成24年度より教室を受けられた場合、健康保険適用となりますので初・再診料・集団指導料の一部負担金をお支払い頂くこととなります。ご了承下さいませお願いいたします。(試食のある場合は別途材料費をいただきます)
伊勢赤十字病院 栄養課

教室参加のながれ

- ①外来または入院病棟で予約を入れて下さい。
- ②参加当日は直接、教室開催会場に入って下さい。
- ③診察券を教室の受付に渡して下さい。
- ④教室終了後、自動支払機にて清算をして下さい。
*必ず診察券をご持参下さい。

糖尿病教室の開催日お知らせ

- 【日 時】 4月は都合によりありません
5月11日(第2金曜日) 9:00~13:00
6月15日(第3金曜日) 9:00~13:00
7月20日(第3金曜日) 9:00~13:00
8月10日(第2金曜日) 9:00~13:00
- 【場 所】 伊勢赤十字病院 5階 第7会議室(下記参照)
- 【参加費】 500円(昼食あり)
※詳細は別紙ありますのでご覧ください。



平成24年 肝臓病教室

日 時	テ ー マ
3月26日(月) 13:30~16:00	C型肝炎の診断と治療
5月21日(月) 13:30~16:00	慢性肝炎(B型・自己免疫性肝炎)の診断と治療
7月9日(月) 13:30~16:00	肝臓病の日常生活と食事
9月8日(土) 10:00~14:00	C型肝炎の診断と治療(肝臓病食について)
11月12日(月) 13:30~16:00	肝硬変の合併症と治療

月のみ会費：500円と、参加申し込みが必要です。
(肝臓病食の見本を準備します。)



伊勢献血ルーム ハートワン

伊勢献血ルーム「ハートワン」 リニューアルオープン

日本赤十字社の血液事業につきましては、日頃より県民や献血団体関係のご支援ご協力を賜り、お礼申し上げます。

平成2年に山田赤十字病院内に初めての献血ルームがオープンし、延べ12万人以上の方の献血協力をいただきました。

今回、伊勢赤十字病院の新設移転に伴い、伊勢献血ルームは病院前のショッピングセンター「ミタス伊勢」の一角にリニューアルオープンしました。

室内面積がこれまでの約3倍とし、伊勢らしいゆったりとした雰囲気の中でくつろいでいただけるようになりました。

受付休憩室は檜を基調とした木目調に「おもてなしの空間」を醸し出し、採血室は屋根を形取った明るい天井で清潔感のある空間で献血していただけるようしています。また採血ベットも8台に増設し、それぞれにテレビが備え付けられ、DVDもご覧いただけます。

受付休憩室には、インターネット用パソコン2台と雑誌もコミックも多数取り揃えています。ドリンクサービスやお菓子も用意しています。子供向けのDVDプレーヤーも用意しています。

今後、少子高齢化にともない献血者人口が大幅に減少し、輸血用血液の確保が課題になってきます。スタッフ一同、精一杯のおもてなしをさせていただきますので皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



●受付時間

成分献血 午前:10時00分~11時00分
午後:13時00分~17時00分
全血献血 午前:10時00分~11時45分
午後:13時00分~17時30分

●定休日…毎週金曜日

●お問い合わせ先

施設名:伊勢献血ルーム「ハートワン」
(三重県赤十字血液センター伊勢出張所)
場 所:伊勢市船江1-471-1
ショッピングセンター「ミタス伊勢」内
TEL:0596-25-7821
フリーダイヤル:0120-25-7821